



8/13 (日) 浦添の歴史をみんなで探検

琉球王国や浦添の歴史を学ぶ「浦添ブスク・ようどれ探検」に大人から子どもまで90人が参加しました。子どもたちにはうらおそい歴史ガイドが作成した「浦添クイズ」の書かれた学習ノートが配られ、歴史を紐解く探検へと出発。

参加した親子はクイズを解こうと真剣な表情でガイドの話に耳を傾けました。

答えをノートに書き込みながら琉球王国の歴史や王統発祥の地とされる浦添の歴史について理解を深めた様子でした。



8/5 (土) ボランティアを知り、 できることから始める

日頃、私たちの周りでは草刈りやゴミ拾い、学校の手入れなど様々なボランティア活動をしている人たちがいます。その活動を知り交流を通して、ボランティアの輪を広げる「第20回うらそえボランティアまつり」が社会福祉センターで開催されました。

会場ではアロマを使ったマッサージ体験や翻訳体験など様々な体験コーナーがあり、手話体験をした市民は「簡単だった。これなら自分もできそう」と、ボランティアへの関心を高めた様子でした。また、各ボランティア団体の活動パネルを市民が熱心に見る姿が多く見られました。



8/18 (金) 市民のまちづくり活動を応援

「シンパネットワーク・メイクマン・大成ホーム協力事業 平成29年度市民の夢応援プロジェクト～第17回まちづくりプラン賞～」へ応募した19団体は、8/12(土)にまちづくり活動に対する熱い思いを公開プレゼンテーションで披露し、その結果13団体の活動を応援することが決まりました。

選ばれた団体は伊祖大綱引きの開催や渡嘉敷島における交流体験キャンプ、沖縄の子育てを応援するイベントの開催などに力を入れて取り組みます。会場はこれからスタートするそれぞれのまちづくり活動へ互いにエールを送りあう拍手でいっぱいになりました。



8/20 (日) 自然とふれあい、自ら学ぶ環境講座

身近な自然や暮らしの環境に触れて学ぶ環境学習講座が全5回にわたり開催され、最終回がたごホール多目的室で行われました。

浦添市クリーンセンターや浦添大公園などを実際に見て触れて学んできた講座もこの日が最終日となり、受講生は環境のために自分たちができることや講座の感想を発表しました。「これからは水を流しっぱなしにしない」「知らない生き物を知ることができた」などの声があり、充実した顔を見せてくれました。子どもたちが記録したものをまとめた「環境学習ノート」は夏休みの自由研究として活用できるものとなり、子どもたちは嬉しそうに受け取っていました。



8/6 (日) JICA研修生らとスポーツで国際交流

年齢や言葉の壁を越えてスポーツで国際交流を楽しむイベントが、国際交流協会主催で開催されました。

参加者らは4チームに分かれて玉入れ・綱引きなどの種目で競い、自分のチームが勝利すると大歓声・ハイタッチで勝利を喜ぶ姿が見られました。言葉は通じずとも身ぶり手振りでコミュニケーションを取り、「チームワーク」と「フェアプレイ」で交流を楽しみました。

最後はみんなで声をそろえて「See you next time!」とあいさつし、笑顔でイベントを締めくくりました。参加者からは「とても楽しかった。また次回参加したい」と次の企画を待ち望む声が聞こえました。



8/2 (水) ドキドキ1日図書館員体験!

子どもたちに読書の楽しさを知ってもらいたい、国際協力や異文化理解に関心をもつきっかけにしてほしいとの思いから、浦添市立図書館とJICA沖縄国際センターの共同企画で「夏休み1日図書館員」の体験が図書館とJICA沖縄図書資料室で行われました。

抽選で選ばれた市内の小学校に通う4人の子どもたちは、返却本の拭き取りや簡単な英会話でJICA研修員へ本の貸し出し業務などを体験しました。体験が終わると子どもたちからは「次回も応募したい」「どちらの図書館も利用したくなった」と図書館業務を通して図書館への関心が高まった様子でした。



8/1 (火) シマグワ(島桑)が秘めた大きな可能性

浦添市と沖縄工業高等専門学校などで構成されるシマグワ研究グループが「シマグワを食前にとると食後の血糖値上昇を抑制する効果がある」とこれまで重ねてきた研究の成果を発表しました。

研究ではシマグワのお茶(パウダータイプ)を飲んだ場合と飲んでいない場合で血糖値の上昇を比較。シマグワを飲んだ場合は血糖値の上昇を平均で20%抑えたといえます。

関係者らは「今後、シマグワを使ったさらなる商品開発などを展開し、産業振興や健康増進に貢献していきたい」と期待を寄せました。

